教科書Unit.59- 2　5年　分母の異なる分数の足し算と引き算
分母の異なる分数の引き算

例題と解説

例題１

次の計算をしなさい。

（1）　$\frac{4}{7}-\frac{1}{7}$

（2）　$\frac{1}{2}-\frac{1}{3}$

（3）　$\frac{11}{18}-\frac{5}{12}$

（4）　$1\frac{13}{30}-\frac{21}{25}$

（5）　$3\frac{4}{7}-1\frac{3}{28}$

（6）　$\frac{17}{24}-\frac{1}{12}$

答え　（1）$\frac{3}{7}$　（2）$\frac{1}{6}$　（3）$\frac{7}{36}$　（4）$\frac{89}{150}$　（5）$2\frac{13}{28}$　（6）$\frac{5}{8}$

[例題１の解説]

（1）　分母が同じ分数の引き算は分子をひくだけです。

$$\frac{4}{7}-\frac{1}{7}=\frac{3}{7}$$

（2）　分母の異(こと)なる分数は通分をしてから引き算をします。

2と3の最小公倍数は6です。

$$\frac{1}{2}-\frac{1}{3}=\frac{3}{6}-\frac{2}{6}=\frac{1}{6}$$

(C) 2014 min-san.com

教科書Unit.59- 2　5年　分母の異なる分数の足し算と引き算
分母の異なる分数の引き算

例題と解説

（3）　18と12の最小公倍数は36です。

$\frac{11}{18}-\frac{5}{12}=\frac{22}{36}-\frac{15}{36}=\frac{7}{36}$

（4）　30と25の最小公倍数は150です。

通分をしてから帯分数を仮分数に直して引き算します。

$1\frac{13}{30}-\frac{21}{25}=1\frac{65}{150}-\frac{126}{150}=\frac{215}{150}-\frac{126}{150}=\frac{89}{150}$

（5）　さきに整数部分だけを引き算します。

3−1＝2より、$3\frac{4}{7}-1\frac{3}{28}=2\frac{4}{7}-\frac{3}{28}$

通分をしてから帯分数を仮分数に直して引き算します。

$2\frac{4}{7}-\frac{3}{28}=2\frac{16}{28}-\frac{3}{28}=2\frac{13}{28}$

（6）　24と12の最小公倍数は24です。

$\frac{17}{24}-\frac{1}{12}=\frac{17}{24}-\frac{2}{24}=\frac{15}{24}$　　約分できる場合は約分します。

$\frac{15}{24}=\frac{5}{8}$

(C) 2014 min-san.com

教科書Unit.59- 2　5年　分母の異なる分数の足し算と引き算
分母の異なる分数の引き算

例題と解説

例題２

次の計算をしなさい。

$1\frac{2}{3}-\frac{1}{12}-\frac{1}{4}$

答え $1\frac{1}{3}$

[例題２の解説]

分数が3つや4つになっても2つの場合と同じです。通分してから引き算をします。

3と12と4の最小公倍数は12です。

$1\frac{2}{3}-\frac{1}{12}-\frac{1}{4}=1\frac{8}{12}-\frac{1}{12}-\frac{3}{12}=1\frac{4}{12}=1\frac{1}{3}$

ポイントまとめ

・分母が同じ分数の足し算は分子をひくだけです。
・分母の異(こと)なる分数は通分してから引き算をします。
・分数が3つや4つになっても2つの場合と同じです。通分してから引き算をします。
・約分できる場合は約分します。

(C) 2014 min-san.com